

漫画『コウノドリ』の主人公のモデルとなった産科医に基礎から対処法までを学ぶ!

お客様の生の声は

日総研 14234

検索



# 周産期における救急疾患の理解と初期対応

## 妊産婦に起こり得る様々な救急症状を理解

異常のアセスメント・初期対応を理解し適切・迅速な処置につなげる

### 救急実例を踏まえて即戦力となるスキルと判断力を身に付ける

ハイリスクでなくても、周産期の現場では突如周産期救急の場面に遭遇し得ます。そのため、助産師・看護師も含めたスタッフが総力戦で正しい初期対応ができるような知識とスキルが求められます。本セミナーでは、初期対応を正しく判断し、適切・迅速に処置が行えるよう周産期での救急実例を踏まえて、明日にでも起こり得る救急場面で即戦力となるスキルを伝授します。

医学博士 **荻田和秀氏** りんくう総合医療センター 産婦人科部長  
泉州広域母子医療センター センター長  
産婦人科認定医／新生児蘇生インストラクター／周産期専門医  
母体・胎児指導医／大阪府母体緊急搬送コーディネーター

1992年香川大学医学部卒業。大阪大学医学部附属病院、大阪警察病院、大阪府立母子保健総合医療センター、大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室勤務を経て、2008年より現職。講談社「モーニング」で連載中の漫画『コウノドリ』の主人公のモデルとしても知られる。

**東京** 18年 4月7日(土) 日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル)

**大阪** 18年 7月14日(土) 田村駒ビル

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 一般 19,500円 会員 16,500円  
※会員は日総研会員制24専門雑誌の年きめ購読者です。  
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数14人。

#### プログラム

#### 1. 周産期救急の基礎知識

- 1) 周産期救急の特徴
- 2) 母体搬送の現状と発生頻度
- 3) 周産期救急の最近の動向
- 4) 妊娠の生理と妊娠経過から見た周産期救急
- 5) 症状から見る周産期救急
  - 出血、ショック、急性腹痛、呼吸困難、チアノーゼ、けいれん、意識障害 ほか

#### 2. 産科領域で起こる押さえておきたい!

##### 救急疾患の理解と対処法 ~症例を交えて

- 1) 妊娠高血圧症候群(HDP)
- 2) 脳出血
- 3) 敗血症
- 4) 周産期心筋症(PCMC)
- 5) 常位胎盤早期剥離
- 6) 血栓塞栓

#### 3. 産科出血の予防と初期対応

- 1) 産褥出血を起こす主な疾患
- 2) 産科出血のリスク
- 3) 産科出血の初期対応のポイント

- 弛緩出血の予防と初期対応
- 子宮内反の修復
- 産褥出血の対応
- 輸血のタイミング、SBチューブ、子宮動脈塞栓術(UAE)、止血縫合、子宮動脈結紮 ほか

#### 4. 周産期救急の治療戦略

- 1) 輸血療法
- 2) 活性型第VII因子製剤
- 3) Peripartum Hysterectomy
- 4) 妊婦のCPR
- 5) 死戦期帝王切開(PMC)

ホームページ 毎週更新 現場から生まれた専門性を磨く研修と教材

日総研

検索

現場で育まれた“知恵”と“技”で実践力を!

## 臨床助産ケア スキルの強化

会員制 隔月刊誌  
A4変型判 120頁  
入会金 3,000円  
年間購読料 16,971円  
(共に税込)

3-4月号  
特集

### 新人助産師への教育体制

各施設の育成環境・指導の実際を具体的に紹介!  
●島根県立中央病院 ●医療法人愛賛会 浜田病院 ●市立札幌病院  
●社会医療法人生長会 府中病院 ●マザリー産科婦人科医院 ほか

助産ケア

検索

▶詳細はホームページで [www.nissoken.com](http://www.nissoken.com)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b>		▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所	TEL ( )	—	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
周産期における 救急疾患の理解と初期対応 [14234]	ふりがな			〒	—		
↓参加地区に✓印を	氏名 (受取 確認者)						送付先 自宅 ・ 勤務先
[6] <input type="checkbox"/> 東京 4/7	生年月日	西暦	19 年 月 日				
[7] <input type="checkbox"/> 大阪 7/14	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください						勤務先名
	お客様コード	役職・部署					
ご連絡をお送りします。メールアドレス							

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは24専門雑誌の年きめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市中区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細は[www.nissoken.com/privacy](http://www.nissoken.com/privacy)